

「子育て世代の防災に関する意識調査」 結果報告書

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会

令和3年3月で10年を迎えた東日本大震災、その後も関東・東北豪雨災害など私たちの住む下妻市をはじめ全国各地で様々な災害が発生しています。

下妻市社協では今後起こりうる災害に備えるため、今年1月から3月にかけて主に子育て世代を対象に“防災に関する意識調査”を実施し、「防災に関して不安に思っていること」などについてご回答いただきました。

1. アンケート概要

実施期間：2021年1月28日～2021年3月15日

回答数：375名（明らかな重複回答を除いた回答数）

アンケート収集方法：google フォームにより構築したアンケートフォームにより収集

アンケート告知方法：フォーム URL を記載したアンケートのチラシの配布

フォーム URL の広報誌への掲載、HP、SNS 等ネット上での告知

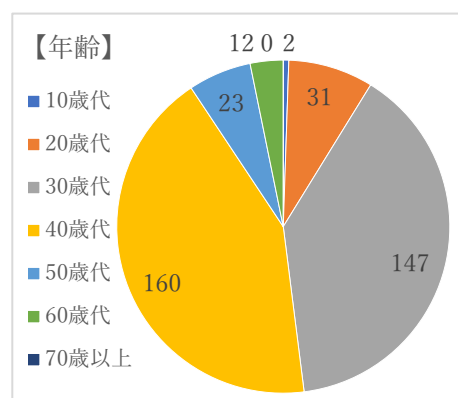
アンケート調査協力：NPO 法人 セカンドリーグ茨城

2. 回答状況について

アンケート回答状況について各項目の回答数、回答割合について以下にまとめます。

【年齢】

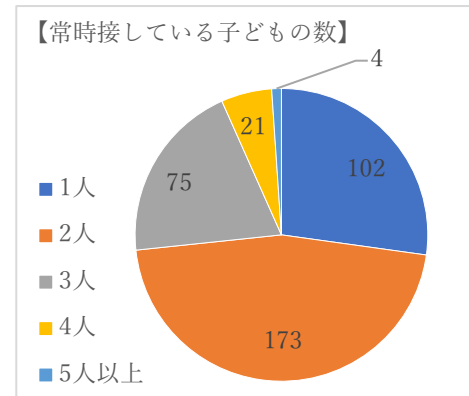
選択肢	回答数	回答割合 (%)
10 歳代	2	0.5
20 歳代	31	8.3
30 歳代	147	39.2
40 歳代	160	42.7
50 歳代	23	6.1
60 歳代	12	3.2
70 歳以上	0	0.0
合計	375	100.0



- ・回答いただいた方々の80%以上が30歳代、40歳代の方々であり、狙い通りに子育て世代にご回答いただいていた。10歳代には学生（中高生か）も含まれている様子だった。
- ・50歳代、60歳代でお答えいただいた方は社会人になる方を抱えているご家族も見受けられた。

【常時接しているこどもの数】

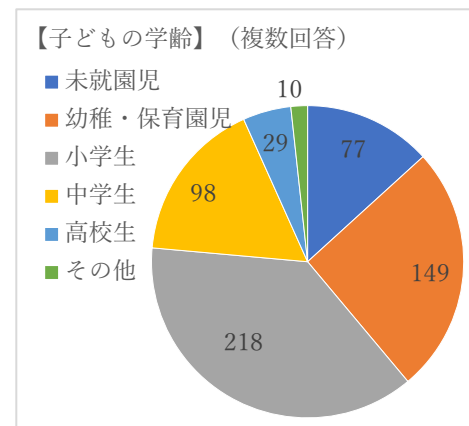
選択肢	回答数	回答割合 (%)
1人	102	27.2
2人	173	46.1
3人	75	20.0
4人	21	5.6
5人以上	4	1.1
合計	375	100.0



- ・ お子様的人数は2人が最も多く、1人とお答えいただいた方も多かったです。4人以上のご家庭は7%以下であった。

【子どもの学齢】（複数回答）

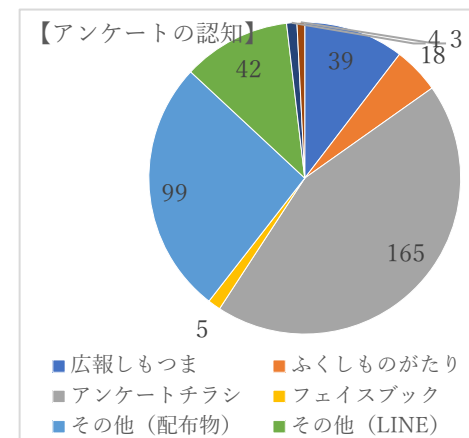
選択肢	回答数	回答割合 (%)
未就園児	77	13.3
幼稚・保育園児	149	25.6
小学生	218	37.5
中学生	98	16.9
高校生	29	5.0
その他	10	1.7
合計	581	100.0



- ・ 小学生が最も多く、次いで幼稚・保育園児、中学生と続いた。その他の中には、大学生・専門学校生6名の他、社会人が2名入っていた

【アンケートの認知】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
広報しもつま	39	10.4
ふくしものがたり	18	4.8
アンケートチラシ	165	44.0
フェイスブック	5	1.3
その他（配布物）	99	26.4
その他（LINE）	42	11.2
その他（検診）	4	1.1
その他（知人）	3	0.8
合計	375	100.0

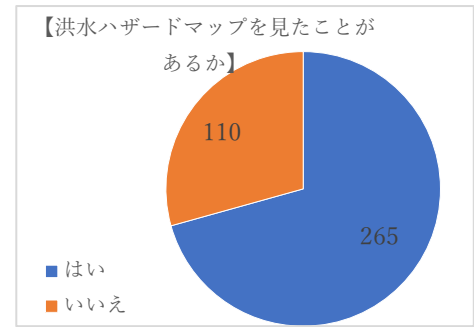


- ・ アンケートのチラシからこのアンケートを知った方が非常に多かった。“その他（配布物）”（学校、幼稚・保育園）や“その他（検診）”もチラシにより認知頂いたと考えられるため、合計268名（71.5%）の方々がチラシから情報を得ていた。広報誌による認知は約15%、SNS等による認知は約13%となった。

【洪水ハザードマップを見たことがあるか】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
はい	265	70.7
いいえ	110	29.3
合計	375	100.0

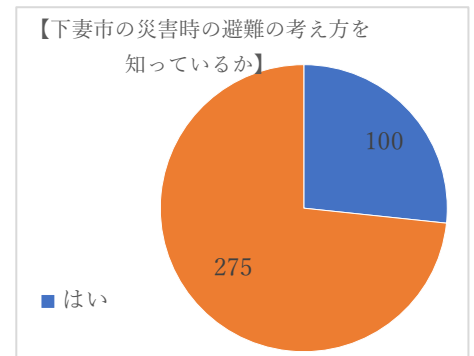
- ・洪水ハザードマップを見たことがある方は70%以上を占めていた。対して見たことがない方は29.3%であった。



【下妻市の災害時の避難の考え方を知っているか】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
はい	100	26.7
いいえ	275	73.3
合計	375	100.0

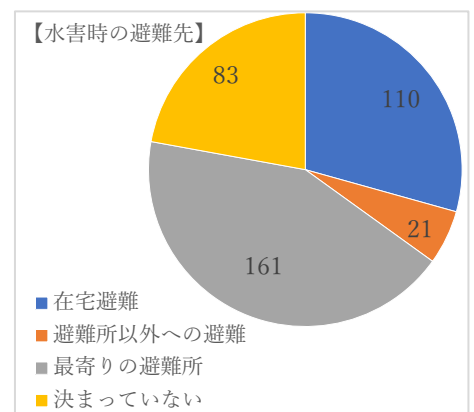
- ・下妻市の災害時の避難の考え方をしていると答えた方は26.7%であり、知らないと答えた73.3%を大きく下回った。



【水害時の避難先】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
在宅避難	110	29.3
避難所以外への避難	21	5.6
最寄りの避難所	161	42.9
決まっていない	83	22.1
合計	375	100.0

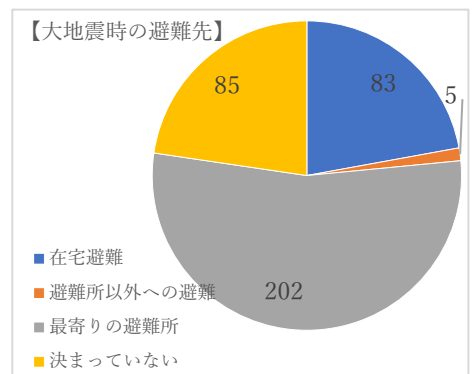
- ・水害時の避難先は、最寄りの避難所と答えた方が最も多く、42.9%であった。在宅避難と答えた方は29.3%であった。次いで決まっていないと答えた方が22.1%の割合であった。避難所以外での避難と答えた方は、“高台にある実家”や“近くの学校”へ避難すると答えた方が多かった。



【大地震時の避難先】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
在宅避難	83	22.1
避難所以外への避難	5	1.3
最寄りの避難所	202	53.9
決まっていない	85	22.7
合計	375	100.0

- ・大地震時の避難先についても、最寄りの避難所と答えた方が最も多く、53.9%であった。在宅避難と答えた方は22.1%であった。次いで決まっていないと答えた方は22.7%の割合であり、傾向としては水害時と同様の結果となった。しかし避難所以外での避難と答えた方は、水害時より少なく、1.3%であった。その避難先は“実家”と答えた方が多かった。



【非常食・非常時備品の備蓄】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
はい	201	53.6
いいえ	174	46.4
合計	375	100.0

・ご自宅に非常食や非常時の備品を備蓄していると答えた方は、53.6%であり、半数以上の方が何らかの備えをしていることが分かった。

<約何日分の備蓄をしているか>

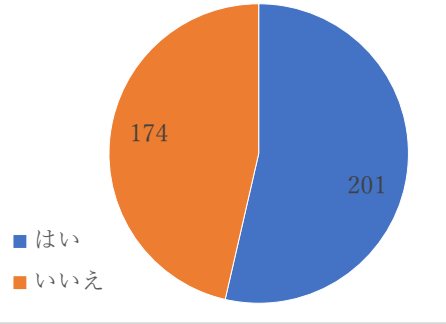
選択肢	回答数	回答割合 (%)
1日分くらい	21	10.4
2日分くらい	54	26.7
3日分くらい	84	41.6
4~7日分	29	14.4
1週間以上	14	6.9
合計	202	100.0

・“備蓄している”と答えた方へ何日分の備蓄をしているか回答いただいた。

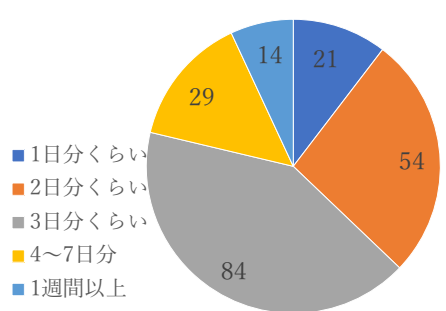
“3日分くらい”と回答いただいた方が最も多く、41.6%、次いで2日分(26.7%)であった。また、20%以上の方が、4日以上との備蓄をしていると答えた。

備蓄している物品については、食料品(米、カップ麺、レトルト、お菓子等)、水の他、懐中電灯、カセットコンロ、電池、生理用品などを備蓄している方も多かった。

【非常食・非常時備品の備蓄】



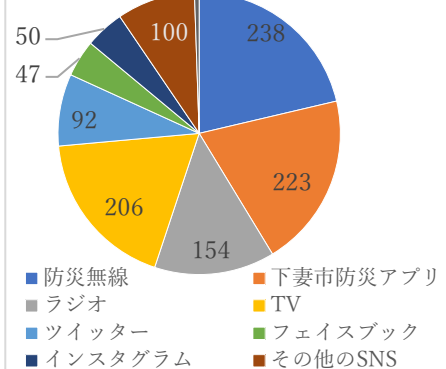
<約何日分の備蓄をしているか>



【災害時の情報収集】(複数回答)

選択肢	回答数	回答割合 (%)
防災無線	238	63.5
下妻市防災アプリ	223	59.5
ラジオ	154	41.1
TV	206	54.9
ツイッター	92	24.5
フェイスブック	47	12.5
インスタグラム	50	13.3
その他のSNS	100	26.7
その他	6	1.6
合計	1116	—

【災害時の情報収集】(複数回答) 6



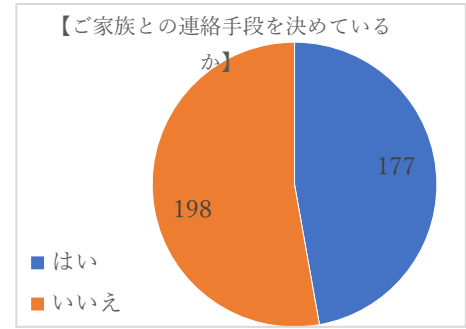
※回答割合 (%) は回答人数割合として算出

・防災無線、下妻市防災アプリから情報を収集すると約60%の方が回答した。TVやラジオと回答する方も多かった。SNSやネットから情報を得ると答えた方はツイッターやネット検索による情報収集と答える方が20%台と多く、フェイスブックやインスタグラムは比較するとやや少なかった。

【ご家族との連絡手段を決めているか】

選択肢	回答数	回答割合 (%)
はい	177	47.2
いいえ	198	52.8
合計	375	100.0

・災害時のご家族との連絡手段を決めていると答えた方は、47.2%であり、半数以下であった。

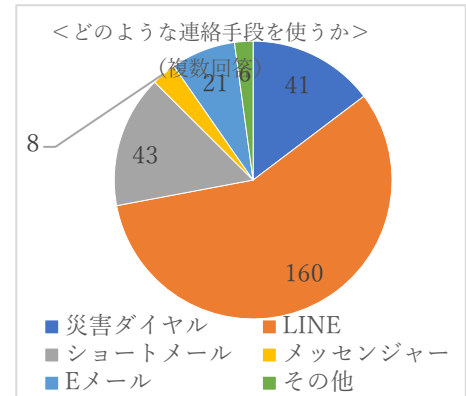


<どのような連絡手段を使うか> (複数回答)

選択肢	回答数	回答割合 (%)
災害ダイヤル	41	23.2
LINE	160	90.4
ショートメール	43	24.3
メッセージ	8	4.5
Eメール	21	11.9
その他	6	3.4
合計	279	—

※回答割合 (%) は回答人数割合として算出

・災害時の連絡手段として、LINE を使用すると答えた方が 90.4%と圧倒的に多かった。次いで、ショートメール (24.3%)、災害ダイヤル (23.2%) の順となった。



【自由記述「防災に関して不安なこと」】

自由記述に記入いただいた方は 109 名であった。

子どもに関すること、避難時・避難所での不安に関すること、防災無線が聞き取れない、コロナ禍での避難などの意見が散見された。

※自由記述の内容は、添付資料として巻末に添付いたします。

<添付資料>

「防災に関して不安なこと」として自由記述頂いた内容を示します。

※文面はアンケートのまま

- ・こういうときはこうする」という取り決めを昔しただけで、その時とは状況が変わっているのに、再度取り決めをしていないところ。
- ・災害が起きて避難した時にどれだけの物資の提供があるか。例えば、赤ちゃんがいると、ミルク、オムツ、水、お湯が必要になるけど、そういう所も大丈夫なのかどうか。
近くの避難場所に行ったとして、コロナの影響もありいっぱい入れなかったらどうしたらいいのか。
- ・携帯電話の充電が切れたらどうするか・ガソリンがなくなったらどうするか・水はどれくらい備蓄したらいいのか・富士山が噴火し、火山灰が飛んできたらどう避難するのがいいのか
- ・As soon as we must follow safety instructions
- ・あまり身近に感じていなくて、準備不足を感じてしまった。
- ・いつ起こるかわからない。どこでなにがおこっているのか、正確な情報を知りたい
- ・いつ避難していいのか分からないことが不安
- ・これを機に色々決めたり揃えたりしようと思いました
- ・コロナで避難所の利用は怖い。夏に電気が止まった時が不安。
- ・コロナ禍での避難について。もしも災害が起きてしまったときに避難所ではどのようにコロナ対策をするのか。
- ・コロナ時代での避難所生活
- ・テレビでのニュースで災害、避難を目にしているが、自分がそうなった時に、何が必要で何が不要か、冷静に判断して行動できるのか不安です。
- ・どこに避難するか
- ・ひとり親なので、子供たち全員を安全に避難させられるか心配
- ・ペットがいるので、ペットを連れて避難できる場所が欲しいです。
- ・まだ子供が小さいから不安
- ・ライフラインの復旧状況のお知らせ
- ・ライフ機関が使えるのが怖い
- ・下妻アプリで情報を手に入れる事が出来る人ばかりでは無いので防災無線が聴きづらくほぼ何を放送しているかわからないのが実情です。ラジオも受信はダメな状況です。一刻も早く改善してください！
- ・下妻市でハザードマップを配布すべきでは
- ・各公民館に備蓄できる施設を税金で建てるべき すべてが遅い
- ・下妻市にはビジネスホテルなどが無いので、被災者が仮住まい出来るような施設の確保が充分と思えない。
- ・下妻市の洪水ハザードマップですが、スマホで見ると文字を拡大してもボヤけてしまって何と書かれているのか全く分かりません。
- ・家族と連絡がつかなくなることがこわいです。
- ・家族と連絡が取れなくなること
- ・家族の安否(特に子ども)が分からない時は不安になります

- ・学校にいつの間ひきとりまでのこと。
- ・近所に空き家が2カ所あり、家や塀が傾いていてとても不安。子供の通学路になっているのだからとかならないか。
- ・近隣に頼れる知人がいないため、避難所に入れなかったら不安です。
- ・携帯の通話が出来ないこと
- ・公助がどのくらいのスピードでいきわたるか
- ・災害が起きた時、どのように行動出来るか、不安です。
- ・災害時の宿泊場所
- ・災害時の連絡手段が不安
- ・災害発生時、携帯電話等の通信手段が途絶えた場合の家族との連絡手段がどうなるか不安です。
- ・災害発生時の各学校。保育園での対応、避難先等詳しく記された表などが保存版としてあれば助かります。
- ・在宅避難のさいは、食糧支援を受けられるかどうか。子供の学校のこと(来年度から小学生)
- ・仕事と家庭の優先度
- ・工作中、学校など離れているときに災害が起きたら川を越えないと行けないので、橋を渡ることができるのか、ちゃんと迎えに行けるのか不安があります。
- ・子どもと離れているときに災害が来たら、不安です。
- ・子どもには携帯を持たせて無いので、連絡方法に悩みます。
- ・子供が1歳未満のときは、もし避難所に行かなければならないような状況になったときに大丈夫か漠然としたファンがあった
- ・子供が登下校時の災害
- ・子供が非日常の生活に適應できるかどうか。避難所などでルールが守れる気がしない。
- ・子供たちの学校が3ヶ所に分かれるため、夫婦で手分けして安否確認が速やかに行えるか、スマホやタブレットにばかり頼る現代で、停電した際の子供の不安感を払拭できるのか、混乱する中で冷静でいられるか。現実と災害現場の間で対応できるのか、など、実際に起きてみないと理屈ではわかっていることが対応できないのではないかと不安だらけです。
- ・子供と離れているときに被災した場合、無事に会えるか不安です。
- ・子供と離れている時に災害が起きた際、ちゃんと子供と会うことができるか
- ・子供用品(オムツや離乳食など)が手に入るのか。避難所では授乳場所に困るだろうから、授乳やオムツ替えスペースを用意してもらえるのか。避難所におけるプライベートスペースの確保をどのようにしてもらえるのか。
- ・子連れでコロナ禍の中、避難所はつかいたくない。
- ・市の防災無線ではなく、ケーブルテレビのほうがいいのでは
- ・もう少し災害に対して市がしっかり対策して！下妻市は金を使うところが無駄なとこに行き過ぎ！
- ・市職員のため、災害対応業務優先となり、家に子どもだけになってしまうこと。
- ・死んでしまうか
- ・自身の準備不足と幼い子供がいることによる不安がある
- ・自分が避難する際、家族5人でどのくらいのスペースにプライベート空間を確立できるのか不安。よってなるべく自宅にいられるような考えでいます。
- ・自分の備えが足りているか。自宅が危険で避難所に行く場合の、感染症対策、騒ぐ子どものストレス発散方法。

- ・宗道駅近くの 56 号線沿いの空き家が傾いていて倒壊しそうで怖い。近くの塀もひびが入っていて倒れそう。市で対応できませんか。
- ・準備に関して
 - ・小さい子供がいると避難所への避難は難しいかなと心配しています。
 - ・小貝川沿いに住んでおり、水害時に指定された避難先では、到底、安全だとは思えない。
 - ・場所によっては、避難所が被災する可能性がある。個人の判断で避難所は決めてもいいのか？
 - ・食料などの不足 仕事中的子供の迎え
 - ・震災の時に携帯電話が繋がらないということがあり不安でした。家には電話回線がないので。
 - ・水害時の避難所体育館より市役所がいいかな？
 - ・正確な情報を早くもらえるか？
 - ・赤ちゃんがいるのでお水が不安なのと、お風呂などが心配
 - ・千代川の災害時に同時 1.2 歳頃の子供を抱えて避難所で一時過ごしました。渡されたのはクラッカー1 袋と薄い毛布。体育館も寒く一部雨漏りがして半分くらい体育館が使いませんでした。年配ばかりが幅を取り赤ちゃんを連れた私には冷たい視線。さらに下水が溜まりトイレも使えず避難所を変えてくださいとの指示。指示をしていた人もどうしていいのか、ずっと電話をしていました。避難所とは記載してあるけれど、実際に市民の避難所としての機能はしていないと強く感じました。過去の災害をみてもそうですが、避難所は動けない年配の溜まり場になるのが実情で子育て世代はやっていけないので災害の少ない地域に移動するのがほとんどではないでしょうか。災害時に関わらず、普段から子育てしづらい土地だとは感じているので将来も子供達がここで過ごしたいと思える土地づくりに税金を使って欲しいとは思っています。
 - ・川が近いので不安である
 - ・川のそばに住んでいます。いつも台風が来るたびに川の水位が気になります。情報をもっと発信して欲しいです。鬼怒川が決壊した時、近くの橋が通行止め。近くの道路も通行止めになり、水がどこまで来ているのか情報が何もなかったので、不安でした。
 - ・川沿いに住んでいるので自然災害が心配
 - ・全てが不安でたまらない
 - ・想像が出来ない
 - ・昼間は自宅に耳が遠いおばあちゃんが一人なので、心配です。
 - ・停電
 - ・停電でスマホが充電出来ず防災アプリが見れなくなってしまった時、防災無線が聞こえずらいので心配。在宅避難をした時、いろいろな情報がちゃんと伝わってくるのか心配。夫婦共に市外で仕事をしてるので、災害が起きてもすぐに戻れないので子供のことが心配。
 - ・堤防等はちゃんとしているか
 - ・電気が使えなくなったら不安 どのくらい飲食を備蓄したら良いのか
 - ・電気が停まってしまうと何も出来なくなるのが不安で仕方ないです。
 - ・東日本大震災のとき、広い駐車場が必要と感じた。公共施設は植栽は控えめにして駐車スペースを広くしてほしい。地震のときは避難所(建物)の中にいることも不安になると思う。
 - ・東日本大震災のような甚大な規模の災害が起きたとき 電気や通信機きが無意味になることがわかっているので、その時に慌てず冷静な状態で物事を考えるようにしなくてはならないが、それを支援してくれる市の役割をもっとしっかり構成してほしい
 - ・東日本大震災の被災地のため、自宅に地震のダメージが溜まっているように思うが、避難所も遠く、また、発達障害児もいるため避難しづらく、在宅避難を選ばざるを得ない。

- ・動物と避難が出来るか
- ・日中の生活拠点が全員離れているため、子どものもとへたどり着けるのかが不安
- ・認知症や障害者の避難の難しさ
- ・避難基準を分かりやすく、略語、替え歌、などにする。防災無線が聞こえづらい。
- ・避難所がいっぱいの場合どうすればよいか
- ・避難所である高道祖小学校が浸水予定地にあるのが不安です
- ・避難所での居場所を確保できるか、避難物資の配布は行き届くのか心配
- ・避難所に避難したくても、今はコロナが怖くて躊躇してしまうかもしれない
- ・避難所情報などがわからないので、どのように知るのが、から教えてほしい。
- ・避難場所はあるが、今なにか起こっても、コロナ感染が怖くて、子供と避難するのは難しいと思う。
- ・避難場所までたどり着けるか不安
- ・避難先に避難した際、授乳中だったらどのように過ごせるのか・夜泣きの心配・今1歳の子供がおり静かに過ごせることができないので避難先へ行けない不安などあります。
- ・非常食はたかい
- ・備えておけばいちばんいいのですが、備えていたものが見当違いだったりするかもしれないから、何があるといいのか気になる
- ・不安は計り知れない 万全とは言いきれない 何を不安視するかはその時の状況による
- ・物資の買い占め。
- ・放射能については見えない分かなり不安があります。
- ・防災があったら、怖いし、不安だらけですが、その時にならないと、よくわからないというのが、いまのところの気持ちです。
- ・防災に関してよりもコロナへの市の詳しい対応がほしい。
- ・防災ラジオの電波
- ・防災時の園の対応など
- ・防災準備やイメトレはしているが、実際におこったときに、子供達がいる1人ではないので、ちゃんと行動出来るかが不安に思います。
- ・防災放送がまったく聞こえない
- ・防災無線がこだまして聞こえにくいです
- ・防災無線が聞こえない
- ・防災無線が聞こえにくい
- ・防災無線の音が小さくなってしまい、聞こえにくい。(ほぼ聞こえない)子供が遊んでいると5時の放送にも気づきにくいそうです。携帯を持っていない小学生の子供のためにも放送の音をもっと大きくするか、スピーカーを増やしてほしい。(総上地区)アプリなど充実してきていますが、携帯を持っていない子供たちのことも考慮してもらいたい。
- ・防災無線の放送が聞き取れない
- ・夜中に災害が起こったらパニックってしまいそう
- ・連絡取れなかった場合どうしたら良いか